平成23年５月13日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代表者名 代表取締役社長 永田 良一
（コード番号：2395 東証一部）
問合せ先 代表取締役副社長 関 利彦
（TEL:03-5565-6216）

業績予想と実績の差異に関するお知らせ並びに営業外費用（為替差損）及び特別損失（個別決算）の計上について

平成22年５月14日に公表しております平成23年３月期（平成22年４月１日～平成23年３月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、平成23年３月期において下記の通り営業外費用及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想と実績との差異について

（１） 平成23年３月期 連結業績予想数値との差異（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,260	△950	△1,000	△1,400	△42.49
実績値（B）	17,371	△843	△1,204	△1,442	△43.25
増減額（B－A）	△888	+106	△204	△42	
増減率（%）	△4.9	－	－	－	
（ご参考）前期実績（平成22年３月期）	19,050	343	436	534	16.14

（２） 平成23年３月期 個別業績予想数値との差異（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,820	500	570	270	8.19
実績値（B）	12,620	333	136	△1,976	△59.29
増減額（B－A）	△199	△166	△433	△2,246	
増減率（%）	△1.6	△33.4	△76.0	－	
（ご参考）前期実績（平成22年３月期）	12,898	1,265	1,551	823	24.87

（３） 差異が生じた理由

(a) 連結

日米共に前臨床市場が低迷する中で、業務の効率化、経費の削減、厳選に取り組み、営業利益は前回予想を上回りました。また、下記の通り為替評価損失を計上しており、経常利益、当期純利益はいずれも前回予想を下回り、上記のとおり差異が生じました。

(b) 個別

前臨床市場の低迷し、施設稼働率が低下しため、売上高、営業利益共に前回予想を下回りました。また、下記の通り為替評価損失、特別損失を計上しており、経常利益、当期純利益はいずれも前回予想を下回り、上記のとおり差異が生じました。

２．営業外費用（為替差損）の計上について

平成23年３月期において、昨今の為替相場の変動により、営業外費用に為替差損415百万円（連結決算、個別決算では423百万円）を計上いたしました。これは、主に平成23年３月期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

３．特別損失（個別決算）の計上について

平成23年３月期において、当社が保有する関係会社株式のうち、時価が著しく下落しその回復があると認められないものについて、減損処理による関係会社株式評価損1,224百万円を特別損失に計上することといたしました。

また、当社の香港の連結子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも当該子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、出資の将来的な減損リスクの回避を目的として、健全性の観点から投資損失引当金繰入額769百万円を特別損失に計上することとしました。

なお、当該関係会社株式評価損及び投資損失引当金繰入額については、連結決算においては消去されるため連結業績に与える影響はありません。

以　上